

## 南九州市男女共同参画基本計画に基づく令和4年度実施事業の 進捗状況についての評価に対する意見について（報告）

本計画の令和4年度の実施事業の進捗状況に対する内部評価（各担当課，まちづくり推進課及び男女共同参画推進会議）の報告を受けて，信頼性及び客観性を付加する観点から，外部評価として実施しました。

以下，評価に対する審議会の意見として報告いたします。

### 【1. 審議会等への女性委員の登用について】

市の施策について協議が行われる審議会等において，クオータ制（会議などの女性・男性比率を一定にし，格差を是正する制度）などの導入により，女性委員を積極的に登用する具体的方策を検討していただきたい。

また，会議等の開催にあたっては，誰もが参加しやすい日程や会場の設定等に配慮し，参加者の負担を軽減することで，市民参加を積極的に推進していただきたい。

### 【2. 市職員研修の実施について】

市職員が職務の遂行にあたり，「男女共同参画の視点」を常に意識することができるよう，引き続き，市職員を対象とした男女共同参画をはじめとする人権等の各種研修を実施していただきたい。

また，職員研修の状況について，市民に分かりやすく公表していただきたい。

### 【3. 企業における女性活躍の意識啓発について】

職域における女性活躍を推進するために，南九州市商工会などの関係機関と連携し，企業への意識啓発を推進していただきたい。

### 【4. 防災会議への女性の積極的な登用について】

災害発生時，特に避難所開設にあたっては，多様な視点による運営が必要不可欠であることを鑑み，政策・方針決定過程から女性の参画を拡大し，本市の防災施策に「男女共同参画の視点」の浸透がより図られるよう，市防災会議への女性委員の積極的な登用を推進していただきたい。

---

### 【総評】

南九州市においても少子高齢化・人口減少が進行しており，地域活動を通じてその影響の大きさを実感する機会が多くあります。

南九州市男女共同参画審議会でも、少子高齢化・人口減少に起因する地域の諸課題について、各委員から様々な意見があり、熱心な議論がなされました。また、少子高齢化・人口減少を発端として顕在化した地域における諸問題を男女共同参画の視点で改めて見てみますと、そこに性別による役割分担意識が、無意識のうちに深く地域に根差していることも複合的な要因となっているのではないか、という視座が得られました。

これまでの地域活動の取り組み方法を見直し、人口減少社会でも対応可能な地域活動の方策を検討することはもちろん、地域に根差す性別による役割分担意識を見直すことが、地域に暮らすすべての人が、性別にかかわらず誰もが自分の持つ能力を活かして活躍することのできる「男女共同参画社会」を地域に実現することにつながります。

日本だけでなく、世界的にもジェンダー平等、男女共同参画推進が進められており、南九州市においてもこの時勢をチャンスと捉えていただき、それぞれの違いを認め合い、尊重し合う男女共同参画社会の実現のために計画を確実に実行し、推進していただくことをお願いして評価いたします。

令和5年11月6日

南九州市男女共同参画審議会